

4.4. 宇宙開発フォーラム実行委員会（SDF）

細谷周平（千葉大学 理学部物理学科 3年）

1 はじめに

利用としての側面が重視される近年の宇宙開発においては、技術といった理科系的な視点だけでなく法律、政策、ビジネスなどの文科系的な視点を含めた、幅広い分野からのアプローチが不可欠である。SDFでは、宇宙開発について社会科学的な考察を行うことにより、学生という立場から宇宙開発の発展を目指す、ということを理念として掲げている。活動としては、「宇宙開発フォーラム」の開催を中心として、様々な専攻の方による交流を促進し、宇宙開発に関わる課題について学際的考察の場を提供している。

2 宇宙開発フォーラム 2016

SDFメンバーが抱く宇宙開発に対する問題意識の発信と、学生、社会人による議論や交流の促進を目的として、「宇宙開発フォーラム 2016」を2016年9月17日18日の2日間にわたり、東京大学武田先端知ビルにて開催した。本フォーラムでは、「利用という観点から宇宙開発の成果をいかに社会に還元するか」というテーマを設定し、セミナー、ワークショップ、特別セッション、パネルディスカッションなどのプログラムを実施した。

以下、プログラム内容¹。

- ・セミナー

 - 「日本の火星探査の展望」

 - 講演：藤田 和央 様（国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 研究開発部門 第二研究ユニット 研究領域リーダー）

- ・ワークショップ 1

 - 「宇宙事業産業化に向けた官民の取組み」

 - 講演：宇治 勝 様（一般社団法人 日本航空宇宙工業会 技術部部長（宇宙担当））

- ・ワークショップ 2

 - 「宇宙利用推進と地理空間情報の活用」

 - 講演：柴崎 亮介 様（東京大学 空間情報科学研究センター 教授）

- ・特別セッション

- ・パネルディスカッション

 - 「リモートセンシングから見る日本の宇宙利用の展望」

 - パネリスト：岩崎 晃 様（東京大学 大学院工学系研究科 教授）

¹ 詳細は本フォーラム報告書（http://www.sdfec.org/Reports/SDF_Report_2016.pdf）参照

高山 久信 様（一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構 戦略企画
室長 兼 宇宙産業本部副本部長・宇宙ビジネスコーディネーター）
向井田 明 様（一般財団法人リモート・センシング技術センター ソリ
ューション事業部 部長）

3 国際航空宇宙展出展

2016年10月12日～15日に開催された国際航空宇宙展にて、唯一の学生団体として企画出展を行った。国際航空宇宙展は、国内外から多くの企業、団体が参加して行われる航空宇宙分野の国際展示会であり、SDFはパブリックデーである15日にセミナーやフリーディスカッションのプログラムを実施した。

4 第11回宇宙法模擬裁判日本大会

2016年3月にデジタルハリウッド大学で開催された「第11回宇宙法模擬裁判日本大会」（主催：宇宙法模擬裁判日本大会実行委員会）に、弁論者として参加した。国際法模擬裁判とは、架空の事例をもとに原告・被告それぞれの代理人として国際法の弁論を行う競技で、国際法の実践的教育として世界各国で行われているものである。本大会で、SDFは団体総合優勝のほか、弁論メンバー全員が個人賞を受賞した。